



株主の皆様へ

第79期 中間事業報告

令和5年4月1日から令和5年9月30日まで



北野建設株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社グループの第79期中間事業報告（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）をお届けするにあたり、その概況や主な完成工事等についてご報告申し上げます。

代表取締役会長兼社長

北野貴裕



コーポレート
ステートメント

未来を 育てる 人がいる

経営理念

顧客からの信頼を第一義に考え、
高品質・高付加価値なものづくりに徹し、
社会の期待に応え、ともに発展する

目次

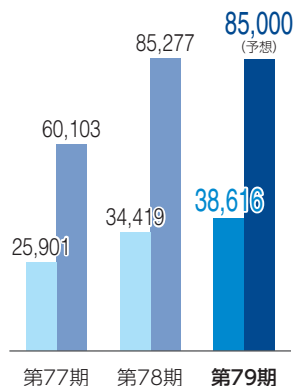
株主の皆様へ	1
営業の概況	3
主な完成工事	5
連結計算書類	7
会社概要	9
株主メモ	10

財務ハイライト

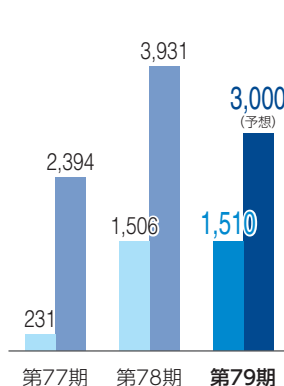
(単位：百万円)

■ 通期 ■ 上半期

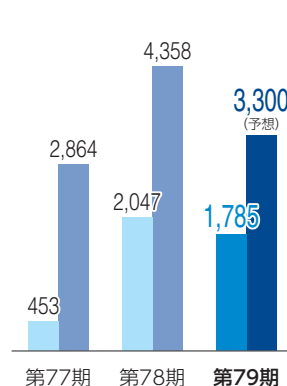
売上高



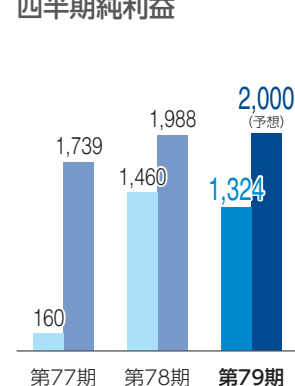
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する 四半期純利益



当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類が「第5類」に引き下げられ、家計部門ではこれまで抑制されてきた対面型サービスへの支出増加、企業部門では設備投資の再開や前向きな投資増加等の経済活動の正常化を背景に内需を中心に緩やかに持ち直しています。しかしながら世界経済におきましては、欧米経済の物価高や金融引き締めの影響による減速、長期化したウクライナ情勢、資源価格の動向や為替変動など海外情勢の不安定さや海外経済の回復ペースの鈍化の影響を受けており、引き続き日本経済への影響に十分注意する必要があります。

当社グループが主に事業を展開している建設業界においては、政府建設投資は底堅く推移しており、民間建設投資も持ち直しの動きがみられておりますが、労働者不足や労務費の上昇、原材料価格の高騰、為替変動、同業他社との厳しい受注環境の激化等、引き続き注視が必要な状況が続いております。また、連結子会社のホテル事業につきましては、諸外国における各種規制の撤廃の影響により、コ

ロ禍前の水準への緩やかな回復基調にあります。

第79期につきましても、事業計画達成に向け、安定的な受注及び利益の確保、コスト競争力の強化、人材の計画的な採用・育成に継続して取り組んでおります。加えてデジタル・トランスフォーメーション (DX) の推進による生産性の向上、人的資本への投資により、より社会から認められる企業としての存在価値を高めてまいります。株主の皆様には、ご期待に応えるべく健全な財務体質を堅持し、安定的な配当の実施を継続すること、さらに、事業活動を通じて社会の持続的な発展に貢献することが、当社に課された最重要使命であると深く認識し経営努力を続けてまいります。

最後になりましたが、配当金につきましては期末時に期末配当金として、普通株式1株につき、普通配当金100円を実施させて頂く予定であります。

今後とも株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

営業の概況

当第2四半期
連結業績

売上高

386億16百万円

営業利益

15億10百万円

経常利益

17億85百万円

親会社株主に帰属する
四半期純利益

13億24百万円

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高386億16百万円、営業利益15億10百万円、経常利益17億85百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益13億24百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における当社の受注高につきましては、建築工事の「公益財団法人倉石地域振興財団 栗田病院新棟新築工事」、「(仮称)立飛アイスリンク新築工事」、「(仮称)LOGI FLAG COLD厚木I 新築工事」、土木工事の「街路築造工事(5—環2築地)」等の受注があり、総額では492億92百万円となりました。受注工事の工事別内訳としては、建築工事が約96%、土木工事が約4%となりました。

当社単体の完成工事高におきましては、建築工事の「株式会社ブルーナ吉見ロジスティクスセンター増築工事」、

「東急ハーヴェストクラブ軽井沢2期計画 開発工事及び建築工事」、「オリンパス株式会社_O3P_技術開発センター石川1号棟改修工事」、土木工事の「佐久平駅南土地区画整理事業造成ほか工事」等の完成により、総額では365億99百万円となりました。当社単体の兼業事業売上高につきましては、6億21百万円となり、最終的な当社単体の総売上高は372億20百万円となりました。完成工事の工事別内訳としては、建築工事が約90%、土木工事が約10%であり、発注者別内訳では、官公庁工事が約10%、民間工事が約90%となりました。

次期への繰越工事高としましては、建築工事が651億66百万円、土木工事が75億83百万円となり、全体では727億50百万円となりました。

当上半期の受注工事高及び完成工事高の状況

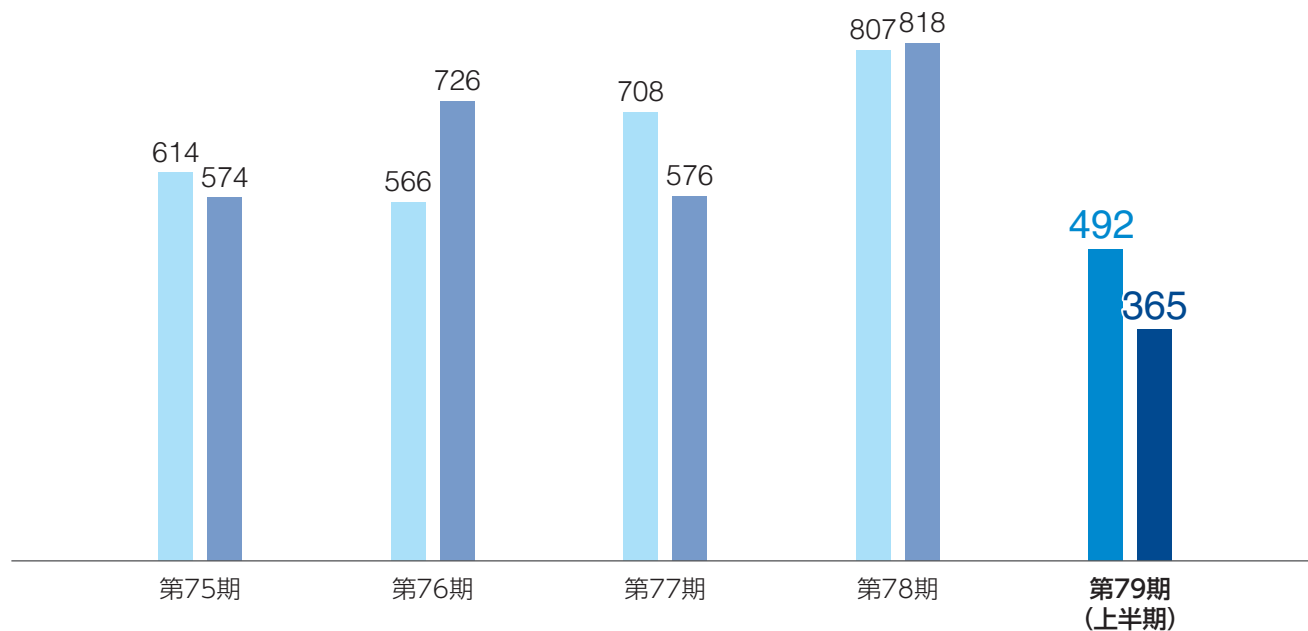
(単位：百万円)

工事別	前期 繰越工事高	当上半期 受注工事高	計	当上半期 完成工事高	下半期 繰越工事高
建 築	50,855	47,308	98,163	32,996	65,166
土 木	9,201	1,984	11,186	3,602	7,583
計	60,056	49,292	109,349	36,599	72,750

受注工事高・完成工事高の推移

(単位：億円)

■ 受注工事高 ■ 完成工事高



主な完成工事

1

株式会社ペルーナ
吉見ロジスティクスセンター増築工事



用途	倉庫
発注者	株式会社ペルーナ
設計監理	株式会社松本設計
施工地	埼玉県比企郡吉見町
工期	令和3年11月～令和5年5月

2

株式会社山二
北側倉庫新築工事



用途	倉庫
発注者	株式会社山二
設計監理	北野建設株式会社一級建築士事務所
施工地	長野県須坂市
工期	令和5年1月～令和5年9月

3

軽井沢駅前土地
(第一土地) 計画



用途	店舗
発注者	東急株式会社
設計監理	株式会社東急設計コンサルタント
施工地	長野県北佐久郡軽井沢町
工期	令和4年9月～令和5年4月

4

「長野県神社庁」
庁舎氏子会館建設工事



用途	庁舎
発注者	長野県神社庁
設計監理	株式会社中村建築研究所
施工	北野・アスピア特定建設工事共同企業体
施工地	長野県長野市
工期	令和4年9月～令和5年9月

5

KITANO CONSTRUCTION CORP.

5 日総第26ビル新築工事



用途	事務所
発注者	日総ビルディング株式会社
設計監理	株式会社佐藤尚己建築研究所
施工地	東京都中央区
工期	令和4年4月～令和5年8月

6 デリシアガーデン明科新築工事



用途	店舗
発注者	株式会社デリシア
設計監理	株式会社県設計
施工地	長野県安曇野市
工期	令和3年7月～令和5年9月

7 ソロモン諸島 ホニアラ国際空港整備計画



用途	空港施設
発注者	ソロモン諸島通信航空省
設計監理	ジャイロス・江平建築事務所・ オリエンタルコンサルタンツ
施工地	ソロモン諸島ホニアラ市
工期	令和元年12月～令和5年4月

8 佐久平駅南土地区画整理事業 造成ほか工事



用途	土地造成工事
発注者	佐久平駅南土地区画整理組合
設計監理	—
施工地	長野県佐久市
工期	令和2年3月～令和5年6月

連結計算書類

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 (令和5年3月31日現在)	当第2四半期 (令和5年9月30日現在)
[資産の部]		
流動資産	44,960	40,575
現金及び預金	26,132	19,431
受取手形・完成工事未収入金等	12,662	15,345
有価証券	28	—
販売用不動産	3,230	3,253
未成工事支出金	1,119	142
開発事業等支出金	50	732
その他のたな卸資産	405	326
その他	1,346	1,357
貸倒引当金	△ 14	△ 14
固定資産	29,801	31,375
有形固定資産	20,129	19,958
建物及び構築物	16,675	17,145
土地	10,073	10,073
その他	7,087	7,327
減価償却累計額	△ 13,706	△ 14,587
無形固定資産	244	263
投資その他の資産	9,426	11,153
投資有価証券	6,534	8,229
長期貸付金	54	49
退職給付に係る資産	896	911
繰延税金資産	18	15
その他	1,954	1,975
貸倒引当金	△ 31	△ 27
資産合計	74,761	71,950

科目	前期 (令和5年3月31日現在)	当第2四半期 (令和5年9月30日現在)
[負債の部]		
流動負債	32,077	27,032
支払手形・工事未払金等	12,568	7,605
電子記録債務	8,065	5,959
短期借入金	—	4,000
未払法人税等	1,305	474
未成工事受入金	7,936	6,758
賞与引当金	408	429
その他の引当金	119	74
その他	1,673	1,730
固定負債	3,822	4,443
会員預託金	1,701	1,679
繰延税金負債	1,029	1,672
債務保証損失引当金	753	753
退職給付に係る負債	62	65
その他	275	272
負債合計	35,899	31,476
[純資産の部]		
株主資本	35,562	35,777
資本金	9,116	9,116
資本剰余金	3,188	3,188
利益剰余金	25,811	26,482
自己株式	△ 2,554	△ 3,010
その他の包括利益累計額	2,756	4,145
その他有価証券評価差額金	2,132	3,313
繰延ヘッジ損益	△ 0	0
為替換算調整勘定	581	797
退職給付に係る調整累計額	42	33
非支配株主持分	543	550
純資産合計	38,861	40,474
負債純資産合計	74,761	71,950

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)	当第2四半期 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)
売上高	34,419	38,616
売上原価	30,536	34,348
売上総利益	3,883	4,267
販売費及び一般管理費	2,376	2,757
営業利益	1,506	1,510
営業外収益	573	294
営業外費用	32	20
経常利益	2,047	1,785
特別利益	0	3
特別損失	0	0
税金等調整前四半期純利益	2,048	1,788
法人税、住民税及び事業税	600	366
法人税等調整額	△ 30	88
法人税等合計	570	455
四半期純利益	1,477	1,333
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,460	1,324

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)	当第2四半期 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)
四半期純利益	1,477	1,333
その他の包括利益	348	1,390
その他有価証券評価差額金	△ 31	1,181
繰延ヘッジ損益	△ 13	0
為替換算調整勘定	400	218
退職給付に係る調整額	△ 6	△ 9
四半期包括利益	1,826	2,723
(内訳) 親会社株主に係る四半期包括利益	1,807	2,713
非支配株主に係る四半期包括利益	19	9

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)	当第2四半期 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,077	△ 9,713
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 139	△ 249
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,878	2,881
現金及び現金同等物に係る換算差額	425	269
現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	5,485	△ 6,811
現金及び現金同等物の期首残高	13,935	25,321
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,420	18,510

会社概要 (令和5年9月30日時点)

社名 北野建設株式会社
代表者 代表取締役会長兼社長 北野貴裕
設立 昭和21(1946)年8月
資本金 91億1,649万円
従業員数 単体586名 連結945名
株式 東京証券取引所(スタンダード市場)

主な事業内容

- (1) 国内外の建設工事の企画・設計・施工管理・コンサルティング
- (2) 地域開発、都市開発、リゾート開発事業
- (3) 再生可能エネルギー事業
- (4) ホテル、劇場、スポーツ施設などの経営

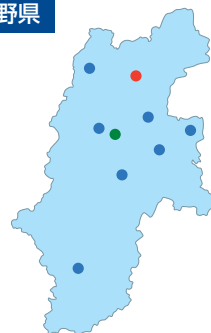
> 役員

代表取締役会長兼社長	北野 貴裕	社外監査役	西田 孝	執行役員	丸山 讓
上席執行役員社長		社外監査役	酒井 光一	執行役員	村田 岳央
取締役専務上席執行役員	山崎 義勝	上席執行役員	秋田 孝之	執行役員	有賀 正美
取締役常務上席執行役員	小澤 善太郎	執行役員	山仲 健司	執行役員	坂本 千尋
取締役上席執行役員	久保 聡	執行役員	南澤 光弥	執行役員	塩沢 豪
社外取締役	宇田 好文	執行役員	倉科 和喜	執行役員	小山 智
社外取締役	矢崎 ふみ子	執行役員	小林 政勝	執行役員	上原 秀
常任(常勤)監査役	滝沢 登	執行役員	守安 修一	執行役員	松本 吉生
社外監査役	尾和 慶襯				

> ネットワーク

- **本社**
長野本社
長野県長野市県町524 ☎026(233)5111
東京本社
東京都中央区銀座1丁目9番2号 ☎03(3562)2331
丸の内分室
東京都千代田区丸の内2丁目2番3号 丸の内仲通りビル5F
- **支社**
大阪支店
松本支店
- **営業所** (長野県内は右のとおり)
上越営業所
富山営業所
横浜営業所
埼玉営業所
千葉営業所
- **事業所**
ソロモン事務所

長野県



本社
松本支店
上田営業所
軽井沢営業所
佐久営業所
白馬営業所
飯田営業所
諏訪営業所
安曇野営業所

海外



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 及び特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 但し、やむを得ない事由により電子公告 をする事ができない場合は、日本経済新 聞に掲載する。 公告掲載の当社のWEBサイト http://www.kitano.co.jp

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

当社第79回定時株主総会における 株主総会資料のご提供方法について

2024年6月開催予定の第79回定時株主総会につきまして、当社は、書面交付請求の有無に関わらず、株主の皆様に対して、従前通り一律に株主総会資料を書面にてお送りする予定です。

株主の皆様におかれましては、同定時株主総会の株主総会資料を書面でお受け取りになるために書面交付請求をしていただく必要はございません。

なお、第80回以降の定時株主総会での対応につきましては未定です。

北野建設CMギャラリーのご紹介

長野県内で放送されている
CMギャラリーを、
当社HPにて公開しております。



> <http://www.kitano.co.jp/corporate/cm.php>

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



2023
健康経営優良法人
Health and productivity

KITANO

CONSTRUCTION CORP.



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境に配慮した
「ベジタブルインキ」を
使用しています。